

## 2. 流域及び河川の自然環境

### 2-1 流域の自然環境

那珂川はその源を那須火山帯に属する那須岳とし、那須岳周辺は日光国立公園に指定され、ニッコウキスゲ等の高山植物やクロサンショウウオがみられる沼原湿原を有し、山麓にはミズナラやブナの天然林が分布している。

上流域の那珂川と箒川に挟まれた一帯は那須野ヶ原と呼ばれ、大規模な複合扇状地が形成されており、扇状地中央付近までは地下水面が深く、一部の河川は流れる水が伏流し、水無川となる。扇状地の下流域では、多くの湧水地が見られ、良好な水質に生息する生物が見られるなど、生物の良好な生育環境となっている。

中流域の八溝山地が南北に連なり、那珂川が八溝山地の西麓を流れる区間には谷底平野の河岸段丘が発達し、周囲は八溝、那珂川、御前山県立自然公園に指定されており、那珂川の砂礫河原と斜面林からなる多様な環境が形成され、多種の植物や鳥類をみることができる。

下流域は那珂台地と東茨城台地など広大な洪積台地が形成され、その間の肥沃な沖積平野では市街地や耕作地が広がり開発が進んでいるが、汽水性生物の重要な生息場である涸沼と涸沼川の一部は大洗県立自然公園に指定されており、豊かな自然環境が残されている。

那珂川は地形条件により 6 つに分けることができる。まず、活火山である那須岳から那須野ヶ原扇状地上流端までの「源流区間」、その下流の箒川が合流するまでの「那須野ヶ原扇状地区間」、八溝山地に沿って南下する「山間区間」と八溝山地を横断し両岸が崖地となっている「狭窄区間」、その下流、瓜連丘陵や友部丘陵等の台地や丘陵地の間を河岸段丘を形成して流れる「台地・丘陵地区間」及び最下流の自然堤防が発達する「自然堤防区間」である。

那珂川の河床勾配は、下流の感潮区間では 1/7,000～1/4,000 と緩勾配であるが、その上流は 1/700 から 1/300 以上の急勾配となっている。

那珂川を上流部、中流部、下流部に分け、各区間ごとの河川及びその周辺の自然環境について示す。

- ◆ 上流部：源流区間、那須野ヶ原扇状地区間
- ◆ 中流部：山間区間、狭窄区間、台地・丘陵地区間、
- ◆ 下流部：自然堤防区間

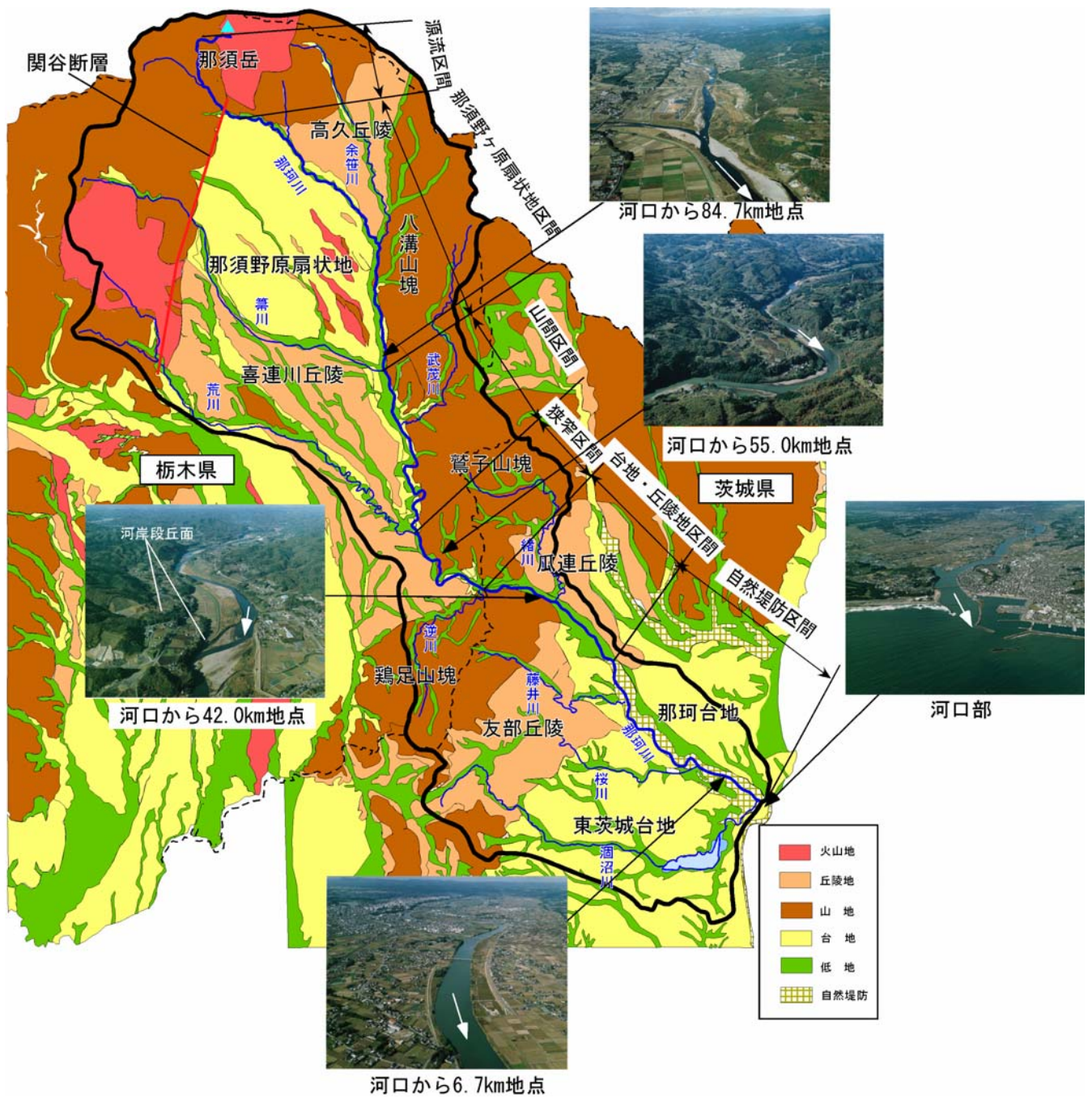


図 2-1 那珂川流域地形分類図

(出典：国土庁 土地分類図 (08 茨城県・09 栃木県) を基に作成)

## 2-2 河川及び周辺の自然環境

### (1) 上流部(源流区間、那須野ヶ原扇状地区間)

那珂川の上流部の那須火山帯は、日光国立公園に指定されており、落葉広葉樹林であるブナ・ミズナラが広がり、溪谷にはイワナ・カジカ等が生息する。



▲新緑のブナ林



#### カジカ (カジカ科)

山間の溪流に生息し、比較的大きな石の下にある、身を隠すことができる空間が確保できる環境を好む。

(写真：リバーフロント整備センター

フィールド総合図鑑 川の生物)

那珂川が流れる複合扇状地である那須野ヶ原の中央から下流にかけては、数多くの湧水が見られ、そこから流れ出る清流の小川や支川には、天然記念物のミヤコタナゴやイトヨ等が生息し、生物の良好な生息環境となっている。



#### ミヤコタナゴ (コイ科)

丘陵地や扇状地周辺の湧水を起源とする水田地帯を流下する細流に生息する。かつては多く生息していたが、現在では絶滅の危機に瀕しており、国指定天然記念物に指定されている。。

(写真：大田原市観光協会 HP)



#### イトヨ (トゲウオ科)

小川や水田の溝などに生息し、水生昆虫や甲殻類などを餌にする肉食である。

雄は流れのゆるやかな泥土質の場所及び水性植物の根茎部に、ちくわ型の巣をつくり、雌が産卵を終えると雄は外敵を監視し、背の鋭い3本の鋭いトゲを立て、巣の周りを警戒する等、特徴的な習性がある。

(写真：山と溪谷社 日本の淡水魚)

## (2) 中流部（山間区間、狭窄区間、台地・丘陵地区間）

那珂川町から城里町に至る中流部は、数段の河岸段丘が発達した谷底平野を流れ、山間の深い谷を流下し、那珂川の清流とともに、那珂川および御前山県立自然公園に指定され、新緑・紅葉と豊かな自然景観を呈し、比較的手つかずの自然が残る礫河原と崖地の特徴的な風景を形成している。

崖地には斜面林であるシラカシ・クヌギが分布し、ヤマセミが生息するとともに、礫河原にはカワラニガナ等の植物やカワラバッタ、イカルチドリなどが見られる。



### カワラニガナ（キク科）

河原の礫地に生える多年草で、大きさは15～30cmまで成長。2cm程度の淡黄色の花が8～9月に開花する。

（写真：平成13年度 那珂川河川水辺の国勢調査  
植物調査 報告書）



### イカルチドリ（チドリ科）

川の中流域より上の砂礫の川原や中州に生息し、冬期には水田などにも現れる。主に砂利の多い河原で繁殖し、特に中流域の礫の多いところを好む。

（写真：リバーフロント整備センター  
フィールド総合図鑑 川の生物）



### カワラバッタ（バッタ科）

後羽の内側が鮮やかな青色をしている美しい種。大きな河川の砂礫地に生息し、体色は周囲の砂礫の色と見分けが付きにくい保護色となっている。近年河原の草地化により全国的に急激に減少してきている。

（写真：リバーフロント整備センター  
フィールド総合図鑑 川の生物）

この区間は良好な水質を維持しているため、きれいな流水にすむスナヤツメ等の魚類や水生昆虫が生息し、大小の礫からなる河床と蛇行した流れが生み出した連続する瀬・淵は、全国でも有数のアユ・サケの産卵・生息場所となっている。



▲中流部の瀬・淵（常陸大宮市）



### スナヤツメ（ヤツメウナギ科）

一生を淡水で過ごし、主の中流域から上流域にかけて生息するほか、丘陵地の湧水を水源にする細粒で見られる。

（写真：リバーフロント整備センター  
フィールド総合図鑑 川の生物）

### (3) 下流部（自然堤防区間）

那珂市から河口に至る下流部は、平野を流れながら川幅を広げ、高水敷にはオギ・ヨシ群落分布し、水域には、ウグイ・オイカワ等の淡水魚の他、ボラ・スズキ・マハゼ等の汽水性の魚類が多く生息するとともに、冬場は越冬のため飛来するカモ類が見られる。



シノリガモ（カモ科）  
冬鳥として岩礁のある波の荒い海岸周辺で見られる。冬期には貝類や甲殻類を食べる。  
(写真：茨城県版 レッドデータブック)



マハゼ（ハゼ科）  
河口やその付近の内湾沿岸の砂泥底に棲む。夏から秋にかけては浅瀬にいて、秋が深まると深みに移動する。古くから食用に漁獲される。  
(写真：リバーフロント整備センター  
フィールド総合図鑑 川の生物)

河口付近で那珂川に合流する支川涸沼川は、汽水環境が形成され、水産資源となるヤマトシジミ等が生息するとともに、涸沼周辺のヨシ群落には、ヒヌマイトトンボが生息し、ヒヌマイトトンボの命名の地として知られている。



▲涸沼川周辺の湿地環境（大洗町）



ヒヌマイトトンボ（イトトンボ科）  
1971年に涸沼沿岸で発見された。幼虫期には海水が流入する河川や湖沼の沿岸部のヨシ群落に出来る浅い水溜りに生息し、成虫になるとヨシやイグサ類などの群落内の狭い空間を低く飛ぶ。  
(写真：茨城町HP)

(4) 那珂川水系における特定種

河川水辺の国勢調査において確認された生物種から、那珂川水系直轄管理区間における特定種を環境省レッドデータブック・リスト記載種、天然記念物指定種等の学術上または希少性の視点から抽出した。表 2-1 に特定種の選定基準、表 2-2 に調査対象毎の調査年度、表 2-3 に調査対象毎の実際に確認された特定種を示す。

表 2-1 那珂川水系における特定種の選定基準一覧表

選定根拠	選定根拠となる法令・文献	記号	カテゴリー区分
1	文化財保護法	特天	国指定特別天然記念物
		天然	国指定天然記念物
2	文化財保護条例	茨天	茨城県指定天然記念物
		栃天	栃木県指定天然記念物
		市天	市町村指定天然記念物
3	絶滅の恐れがある野生動物の種の保存に関する法律 環境省レッドデータブック・リスト	保存	国内希少野生動物植物
4	環境省レッドデータブック・リスト	EX	絶滅種
		EW	野生絶滅種
		CR	絶滅危惧ⅠA類種
		EN	絶滅危惧ⅠB類種
		CR+EN	絶滅危惧Ⅰ類
		VU	絶滅危惧Ⅱ類種
		NT	準絶滅危惧種
		DD	情報不足種
5	茨城県レッドデータブック	LP	絶滅の危機にある地域個体群
		茨 EX	絶滅種：茨城県内で既に絶滅したと考えられる種または亜種
6	栃木県レッドデータリスト	茨 E	絶滅危惧種：茨城県内で絶滅の危機に瀕している種または亜種
		茨 V	危急種：茨城県内で絶滅の危険が増大している種または亜種
		茨 R	希少種：茨城県内で存続基盤が脆弱な種または亜種
7	第1回自然環境保全調査（緑の国勢調査）	栃 EX	絶滅種：県内ではすでに絶滅したと考えられる種
		栃 A	絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している生物
		栃 B	絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している生物
		栃 C	準絶滅危惧種：存続基盤が脆弱な生物
		栃 DD	情報不足：評価するだけの情報が不足している生物
		栃 LP	絶滅の恐れのある地域個体群：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群
		栃 NA	要注目：注目すべき生物
8	第2回自然環境保全調査（緑の国勢調査）	自然	「すぐれた自然」調査対象
		重要	日本の重要な指定種
		指標	日本の指標的な指定種
		希少	日本の希少な指定種
		茨重要	茨城県特定の重要種
9	その他	栃重要	栃木県特定の重要種
		その他	地方において特筆すべき文献掲載種

表 2-2 那珂川水系における河川水辺の国勢調査の調査対象毎の調査年度

調査年度 調査対象	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
植物				●							●		●		
魚介類	●			●				●				●			
底生動物				●				●				●			
陸上昆虫類				●							●				
鳥類				●			●	●							●
両生類・爬虫類 類・哺乳類		●	●			●								●	

那珂川水系における河川水辺の国勢調査は那珂川本川と涸沼川の直轄管理区間に調査地点が設定されているが、河川水辺の国勢調査で生物が実際に確認された地点について表 2-3 では下記のように示した。

- ・ 上流：那珂川本川 85.5km～60.5km
- ・ 中流：那珂川本川 60.5km～27.5km
- ・ 下流：那珂川本川 27.5km～河口
- ・ 涸沼川：涸沼川 那珂川本川合流点～8.0 k m

表 2-3 (1) 那珂川水系で実際に確認された特定種（植物）

番号	種名	選定根拠（表 2-1 参照）									確認地点（H5～H14）			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	上流	中流	下流	涸沼川
1	ウスガ <sup>△</sup> チョウジ <sup>△</sup> タテ <sup>△</sup>				NT						●	●	●	
2	カチ <sup>△</sup> シヤ				NT						●	●	●	
3	カラニガ <sup>△</sup> ナ				VU						●	●		
4	カンエンガ <sup>△</sup> ヤツリ				VU				その他				●	
5	コイスカ <sup>△</sup> ラシ				NT							●	●	
6	サクラハ <sup>△</sup> ハノキ				NT				その他				●	
7	タコノア <sup>△</sup> シ				VU				その他	●	●	●		
8	ノウル <sup>△</sup> シ				VU								●	●
9	ミクリ				NT						●		●	
10	ミス <sup>△</sup> マツハ <sup>△</sup>				VU				その他	●				
11	ミゾ <sup>△</sup> コウジ <sup>△</sup> ユ				NT				その他			●	●	
12	オオク <sup>△</sup> グ				VU				その他					●
13	コウモリカス <sup>△</sup> ラ								その他		●			
14	ハマナス								その他				●	
15	ヒメミツハギ <sup>△</sup>								その他		●			
16	アイシ								その他					●
17	フサモ								その他					●
18	アリアケスミ								その他	●				
19	アキノハコク <sup>△</sup> サ				EN								●	
20	ヌホ <sup>△</sup> タテ <sup>△</sup>				VU									●

表 2-3 (2) 那珂川水系で実際に確認された特定種 (魚類)

番号	種名	選定根拠 (表 2-1 参照)									確認地点 (H2~H13 調査)			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	上流	中流	下流	澗沼川
1	ウツセミカジカ				VU	茨 R						●	●	
2	ギハチ				VU	茨 V					●	●	●	
3	スヤツメ				VU						●	●		
4	タナコ				NT						●	●		
5	ホウスハゼ								重要			●		
6	ホトケトシヨウ				EN	茨 R					●	●		
7	メダカ				VU	茨 R						●	●	

表 2-3 (3) 那珂川水系で実際に確認された特定種 (底生動物)

番号	種名	選定根拠 (表 2-1 参照)									確認地点 (H5~H13 調査)			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	上流	中流	下流	澗沼川
1	シロタニカワカゲロウ								茨重要		●	●	●	
2	タイコウチ								茨重要 栃重要		●	●	●	
3	タカメ				VU	茨 R					●		●	
4	チヲカゲロウ								茨重要		●	●	●	
5	ヌカエビ					茨 R					●	●	●	
6	マルタニシ				NT								●	
7	ミスカマキリ								茨重要 栃重要		●	●	●	

表 2-3 (4) 那珂川水系で実際に確認された特定種 (陸上昆虫類)

番号	種名	選定根拠 (表 2-1 参照)									確認地点 (H5~H12 調査)			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	上流	中流	下流	澗沼川
1	アオマツムシ								茨重要				●	
2	アサギキンカメムシ								栃重要		●			
3	アゲハモドキ								栃重要			●		
4	オオスズメバチ								茨重要				●	
5	オオムラサキ				NT		自然		重要、 希少	その他	●	●		
6	ガムシ									その他		●	●	
7	カンタン								栃重要		●			
8	キトンボ									その他	●			
9	キリギリス								栃重要		●			
10	キンイチョモンシセセリ				NT						●	●	●	
11	クロヒカゲ								希少			●		
12	コマルハナバチ								茨重要			●	●	
13	ジヤコウアゲハ								栃重要			●		
14	ショウリョウバッタモドキ									その他		●		
15	シロハリツチカメムシ				NT							●		
16	セアカササミ								栃重要	その他		●		
17	セウロアシナガバチ								茨重要 栃重要				●	
18	タイコウチ								茨重要 栃重要				●	
19	タカメ				VU				重要	その他	●	●	●	
20	ツノトンボ								栃重要		●			
21	ツマグロキチョウ				VU							●		
22	トゲアリ								茨重要 栃重要			●		
23	トラマルハチバチ								茨重要				●	
24	ニッポノハナダカバチ				DD								●	
25	ヒスマイトトンボ				EN					その他				●
26	ヒメスズメバチ								茨重要				●	
27	ヒメマイカブリ								茨重要			●	●	
28	ホソオビアシブトクチバ									その他		●	●	●
29	マダラヤンマ						自然		茨重要 栃重要				●	
30	ミスカマキリ								茨重要 栃重要				●	
31	ミンミンゼミ								栃重要		●	●		
32	ヤマトタマシ								栃重要	その他			●	
33	ヤマトヒメメダカコウムシ									その他			●	
34	ワスレナグモ				NT					その他			●	



表 2-3 (5) 那珂川水系で実際に確認された特定種 (鳥類)

番号	種名	選定根拠 (表 2-1 参照)									確認地点 H5~H16 調査)			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	上流	中流	下流	澗沼川
1	カンムリカイツブリ					茨 R								●
2	ヨシコイ					茨 R	栃 C							●
3	ササコイ					茨 V					●			
4	チュウサギ				NT		栃 C				●	●		
5	マガン	天然												●
6	オントリ					茨 R	栃 C					●		
7	マガモ						栃 C				●	●	●	
8	シロガモ				LP	茨 R							●	
9	ミサコ				NT	茨 V	栃 C					●	●	●
10	オオカ			保存	VU	茨 V	栃 C				●	●	●	●
11	ツミ				VU	茨 R					●	●		
12	ハイカ				NT							●		
13	サシハ						栃 C					●	●	
14	ハイロチュウビ					茨 R	栃 C							●
15	チュウビ				VU	茨 V	栃 DD							●
16	ハヤブサ			保存	VU	茨 V	栃 A					●	●	●
17	コチョウゲンボウ					茨 R	栃 C							●
18	ウスラ				DD							●		
19	ヒクイ					茨 V	栃 A							●
20	オオハシ						栃 DD						●	●
21	イカルチドリ					茨 R					●	●	●	●
22	シロチドリ					茨 R							●	
23	オオシシギ				NT						●			●
24	コアシサシ				VU	茨 R	栃 DD				●	●	●	●
25	カッコウ					茨 R					●		●	
26	アオハスク				DD	茨 R					●	●		
27	フクロウ						栃 C					●		
28	ヒメアマツハメ					茨 V						●		
29	ヤマセミ					茨 R					●	●	●	
30	コシアカツハメ					茨 R						●	●	●
31	ヒタキ						栃 C				●	●	●	●
32	イソヒヨドリ					茨 R							●	
33	オオセッカ			保存		茨 V	栃 C							●
34	コヨシキリ					茨 R	栃 C						●	●

表 2-3 (8) 那珂川水系で実際に確認された特定種 (両生類・爬虫類・哺乳類)

番号	種名	選定根拠 (表 2-1 参照)									確認地点 (2003 調査)			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	上流	中流	下流	澗沼川
1	カシカカエル					茨 R					●	●		
2	カヤネズミ					茨 R					●	●	●	●

## 2-3 特徴的な河川景観や文化財等

### (1) 特徴的な河川景観

那珂川流域には豊かな自然が残っており、急峻な山地から太平洋に注ぎ込む那珂川の流域では、同じ流域でありながら様々な特徴的な河川景観を見ることができる。

那珂川の上流部は、源流の深い緑の渓谷を流れる川の姿、新緑や紅葉に映える深山ダム、扇状地を浸食してできた谷の中を流れる那珂川などの美しい河川景観が見られる。



▲深山ダムのダム湖



▲那珂川の上流域の様子

中流部は、数段の河岸段丘が発達した谷底平野を流下し、那珂川の清流とともに、御前山県立自然公園等に指定され、比較的手つかずの自然が残る礫河原と崖地の特徴的な風景が見られる。



▲御前山の麓を流れる那珂川



▲那珂川の中流域の様子

那珂川の下流部には、水戸徳川家第9代藩主斉昭公が、天保4年(1833)に領内を巡視し8つの景勝地を選定した「水戸八景」のうち5つの景勝地があり、このうち那珂川本川と涸沼川の合流点右岸の高台から望む「巖船夕照」や、涸沼の湖畔から見られる「ひるうらあきのつき 広浦秋月」などは、かつてを忍ばせる景勝地である。



▲「いわふねのゆうしょう 巖船夕照」と呼ばれる眺め



▲朝日を受けた河口部

(2) 文化

① 名勝・史跡及び天然記念物

那珂川流域内国指定および県指定の名勝・史跡、天然記念物を表 2-4 に示す

表 2-4(1) 那珂川流域の名勝・史跡、天然記念物（国指定）

県	市町村	指定区分	名称
茨城県	水戸市	天然記念物	白旗山八幡宮のおハツキイチョウ
		名勝	常磐公園
		特別史跡	旧弘道館
		史跡	常磐公園
		史跡	吉田古墳
		史跡	愛宕山古墳
		史跡	大串貝塚
	ひたちなか市	史跡	馬渡埴輪製作遺跡
		史跡	虎塚古墳
	笠間市	天然記念物	片庭ヒメハルゼミ発生地
茨城町	天然記念物	大戸のサクラ	
栃木県	栃木県全域	天然記念物	ミヤコタナゴ
		特別天然記念物	カモシカ
	那須塩原市	特別天然記念物	逆杉
	大田原市	史跡	侍塚古墳
	那珂川町	史跡	唐御所横穴
		史跡	那須官衙遺跡
		史跡	那須小川古墳群・駒形大塚古墳・吉田温泉神社古墳群・那須八幡塚古墳群
史跡		那須神田城跡	

(出典：茨城県教育委員会 HP、栃木県教育委員会 HP)

表 2-4 (2) 那珂川流域の名勝・史跡、天然記念物（茨城県指定）

県	市町村	指定区分	名称
茨城県	水戸市	史跡	笠原水道
		史跡	台渡里廃寺跡
		史跡	水戸城跡（壘及び濠）
	ひたちなか市	天然記念物	金砂山の大ヒイラギ
		天然記念物	平磯白亜紀層
		史跡	十五郎穴
		史跡	那珂湊反射炉跡附那珂湊反射資料 25 点
	那珂市	天然記念物	不動院のカヤ
		天然記念物	菅谷のカヤ
		天然記念物	菅谷のモチノキ
	常陸大宮市	天然記念物	三浦スギ
		天然記念物	長倉のエノキ
	笠間市	天然記念物	八重のフジ
		史跡	難台山城跡
	茨城町	名勝	広 浦
		名勝	親 沢
	城里町	史跡	伝内大臣平重盛墳墓
		史跡	那珂西城跡
	大洗町	天然記念物	お葉付イチョウ
		史跡	日 下 塚
史跡		車 塚	

(出典：茨城県教育委員会 HP)

表 2-4 (3) 那珂川流域の名勝・史跡、天然記念物（栃木県指定）

県	市町村	指定区分	名称
栃木県	那須塩原市	天然記念物	乃木希典那須野旧宅
	大田原市	史跡	糸魚生息地
		史跡	堀之内のツクバネガシ
		史跡	片田のヒイラギ
		史跡	大野室のイチョウ
		史跡	佐久山のケヤキ
		史跡	湯泉神社社叢
		史跡	磯上のヤマザクラ
	さくら市	天然記念物	西原古墳
	矢板市	史跡	泉のエノキ
		史跡	観音寺のイチョウ
		史跡	矢板市山田地区のチョウゲンボウ繁殖地
		天然記念物	御前原城跡
		天然記念物	堀越遺跡
	那須烏山市	史跡	菩提久保のボダイジュ
	那須町	史跡	湯泉神社のおおすぎ
		史跡	那須町のこうやまき
		史跡	八幡のミネザクラ
		史跡	伊王野城跡の樹林
		天然記念物	殺生石
	茂木町	史跡	九石のけやき
		史跡	安楽寺のけやき
		史跡	覚成院のかや
		史跡	茂木小山のヤマザクラ
		史跡	河井八幡宮の社叢
		史跡	小貫のイロハモミジ
		史跡	荒櫃神社のケヤキ
		天然記念物	千本城跡
		天然記念物	細川家の墓所
	塩谷町	史跡	船生のひいらぎ
	那珂川町	史跡	馬頭院の枝垂栗
史跡		北向田のケヤキ	
史跡		戸隠神社のイチョウ	
天然記念物		武茂城跡（乾徳寺境内を含む）	

(出典：栃木県教育委員会 HP)

② 文化財

那珂川流域の国指定および県指定の文化財を表 2-5 に示す。

表 2-5 (1) 那珂川流域の文化財 (国指定)

県	市町村	指定区分	名称
茨城県	水戸市	有形文化財	八幡宮本殿
		有形文化財	旧弘道館 (正庁, 至善堂, 正門附塀)
		有形文化財	薬王堂本堂
		有形文化財	中崎家住宅
		有形文化財	佛性寺本堂 (附旧露盤 1 個)
		有形文化財	太刀 (銘則包作附糸巻太刀拵)
		有形文化財	朱漆足付盥
		有形文化財	木造聖徳太子立像
	無形文化財	一中節三味線	
	那珂市	有形文化財	紙本著色聖徳太子絵画
	笠間市	有形文化財	楞嚴寺山門
		有形文化財	笠間稻荷神社本殿 (附棟札 1 枚)
		有形文化財	木造薬師如来坐像
		有形文化財	木造薬師如来立像
		有形文化財	木造千手観音立像
		有形文化財	木造弥勒菩薩立像
		無形文化財	練上手
	茨城町	有形文化財	塙家住宅
	城里町	有形文化財	木造阿弥陀如来坐像
		有形文化財	木造薬師如来及両脇侍像 (附銅造胎内仏)
栃木県	那須塩原市	重要文化財	大覚禅師墨跡
		重要文化財	深鉢形土器残欠共
		重要文化財	旧青木家那須別邸
		認定重要美術品	短刀 無銘 (伝 正宗)
		登録有形文化財	高木会館
		選択無形民俗文化財	百村の百堂念仏舞
	大田原市	国宝	那須国造碑
		重要文化財	絹本著色 仏国国師像
		重要文化財	絹本著色 仏応禅師像
		認定重要美術品	刀 銘 備前国住長船次郎九郎祐定作
		認定重要美術品	紙本墨書 渡辺家三文裏銭文由緒記 附 銀銭
		登録有形文化財	足利銀行黒羽支店 (旧黒羽銀行)
		選択無形民俗文化財	大捻縄引
	矢板市	重要文化財	木造 千手観音及両脇侍像
		重要文化財	木幡神社本殿
		重要文化財	木幡神社楼門
		重要文化財	荒井家住宅
	那須烏山市	選択無形文化財	程村紙
		重要無形民俗文化財	烏山の山あげ行事
		選択無形民俗文化財	塙の天祭
	那須町	重要文化財	金銅阿弥陀如来立像 文永四年在銘
		重要文化財	三森家住宅
	茂木町	重要文化財	旧羽石家住宅
	那珂川町	登録有形文化財	飯塚家住宅新宅主屋
		登録有形文化財	飯塚家住宅新宅文庫蔵
		登録有形文化財	飯塚家住宅新宅中庭木戸
		登録有形文化財	飯塚家住宅新宅石蔵
		登録有形文化財	飯塚家住宅新宅表門及び塀
		登録有形文化財	飯塚家住宅新宅裏門
		登録有形文化財	飯塚家住宅本宅離れ
登録有形文化財		飯塚家住宅本宅表門	
市貝町	登録有形文化財	飯塚家住宅本宅脇門	
	重要文化財	入野家住宅	

(出典：茨城県教育委員会 HP、栃木県教育委員会 HP)

表 2-5 (2) 那珂川流域の文化財（茨城県指定）

県	市町村	指定区分	名称
茨城県	水戸市	有形文化財	絹本着色 両界曼荼羅
		有形文化財	絹本着色 弘法大師像
		有形文化財	絹本着色 真言八祖像
		有形文化財	絹本着色 十二天立像
		有形文化財	絹本着色 六字経曼荼羅
		有形文化財	絹本着色 十三仏像
		有形文化財	絹本着色 釈迦十六善神図
		有形文化財	紙本着色制た迦童子像
		有形文化財	墨画芦雁図立原杏所筆
		有形文化財	水海道小学校玄関
		有形文化財	薬王院仁王門
		有形文化財	旧茂木家住宅
		有形文化財	四脚門
		有形文化財	旧水戸城薬医門
		有形文化財	綿引家住宅主屋・倉
		有形文化財	黒韋肩浅葱筋兜
		有形文化財	蒔絵櫃
		有形文化財	つのたらい
		有形文化財	石造燈籠
		有形文化財	銅印
		有形文化財	海後遺跡出土人面付土器
		有形文化財	三昧塚古墳出土遺物
		有形文化財	小野天神前遺跡出土土器
		有形文化財	大般若波羅蜜多経
		有形文化財	唐本一切経
		有形文化財	六地藏寺所蔵典籍・文書
		有形文化財	紙本墨書神皇正統記六地藏寺本
		有形文化財	鍍金仏
		有形文化財	木造阿弥陀如来像
		有形文化財	木造薬師如来坐像
		有形文化財	木造 釈迦如来坐像
		有形文化財	金銅大黒天像
		無形民俗文化財	大串のささらばやし
	無形民俗文化財	大野のみろくばやし	
	無形民俗文化財	水戸大神楽	
	ひたちなか市	有形文化財	太刀（伝大村加卜）白鞘
		有形文化財	乳飲み児を抱く埴輪
		有形文化財	後野遺跡出土石器及土器
		有形文化財	厳天皇消息
	那珂市	有形文化財	鈴木家住宅
		有形文化財	紙本墨書大般若経（附唐櫃3合）
	常陸大宮市	有形文化財	鷲子山上神社本殿・随神門
		有形文化財	佐竹義昭奉加帳
		有形民俗文化財	西塩子の回り舞台
	笠間市	有形民俗文化財	ささら獅子頭
		有形文化財	笠間城櫓
		有形文化財	唐本一切経
		有形文化財	唐本一切経
		有形文化財	金剛般若波羅密経
		有形文化財	木造 佐白観音坐像
		有形文化財	四神旗附祝文（写）
	茨城町	有形文化財	旧宍戸城表門（附宍戸氏家紋）
		有形文化財	絹本着色阿弥陀如来像
	城里町	有形文化財	礼盤
		有形文化財	木造 弘法大師像
		有形文化財	両界曼荼羅版木
		無形文化財	栗野春慶塗
	大洗町	有形文化財	親鸞聖人画像
		有形文化財	大洗磯前神社本殿拝殿
		有形文化財	鈔断片
有形文化財		如筆消息大根田御坊宛	

（出典：茨城県教育委員会 HP）

表 2-5 (3) 那珂川流域の文化財 (栃木県指定-1)

県	市町村	指定区分	名称
栃木県	那須塩原市	有形文化財	絹本着色 羅刹天
		有形文化財	温泉神社石幢
		無形民俗文化財	塩原平家獅子舞
		無形民俗文化財	関谷の城鍛舞
		無形民俗文化財	上大貫の城鍛舞
	大田原市	有形文化財	絹本淡彩 黒羽周辺景観図
		有形文化財	絹本着色 釈迦涅槃図
		有形文化財	絹本淡彩 広凌観瀾図
		有形文化財	木版紙本着色 五百羅漢像
		有形文化財	紙本墨画 楊柳観音像
		有形文化財	紙本着色 釈迦涅槃図
		有形文化財	板絵墨画 虎図
		有形文化財	板絵著色 四霊の図
		有形文化財	両界曼荼羅図
		有形文化財	紙本墨画 竜に馬師皇図
		有形文化財	木造 聖観音立像
		有形文化財	木造 阿弥陀如来立像
		有形文化財	木造 釈迦如来坐像
		有形文化財	木造 釈迦如来坐像
		有形文化財	銅造 阿弥陀如来・両脇侍像
		有形文化財	銅製罽口 銘 文和二二
		有形文化財	銅製罽口 銘 天正五年
		有形文化財	太刀 銘 不明
		有形文化財	太刀 銘 一
		有形文化財	刀 銘 野州住源正義
		有形文化財	わきざし 銘 源真守造之
		有形文化財	刀 銘 守勝
		有形文化財	刀 銘 埜・住細川正規作(刻印)
		有形文化財	創垂可継
		有形文化財	木版一切経
		有形文化財	止戈枢要
		有形文化財	乗化亭奇方
		有形文化財	宝暦年中政事改正考草案
		有形文化財	紺紙金泥大般若波羅密多経
		有形文化財	那須神社本殿 附寛永大修理銅銘板
		有形文化財	那須神社楼門
		有形文化財	大雄寺経蔵(輪蔵を含む)
		有形文化財	大雄寺総門・座禅堂・廻廊・本堂・御霊屋・庫裡・鐘楼
		有形文化財	旧塩原御用邸新御座所
		有形文化財	鷲子山上神社本殿
	有形文化財	宮原八幡宮本殿	
	有形文化財	大山記念館洋館(旧・大山巖別邸洋館)	
	有形民俗文化財	人面獸心の壁書	
	無形民俗文化財	城鍛舞	
	無形民俗文化財	正浄寺の雅楽	
	さくら市	有形文化財	絹本着色 鮎図
		有形文化財	紙本着色 捕鯨図
		有形文化財	紙本淡彩 秋山訪友図
		有形文化財	板絵著色 神輿渡御図
		有形文化財	紙本淡彩 吉原堤図
		有形文化財	紙本淡彩 秋景山水図
		有形文化財	紙本墨画 鷹と怪獣図
有形文化財		紙本墨画 夏山水図	
有形文化財		紙本淡彩 御用堀普請図・落成図	
有形文化財		紙本淡彩 座頭京上り図	
有形文化財		紙本淡彩 田植図・収穫図	
有形文化財		絹本着色 野鴨を襲う鷹図	
有形文化財		紙本淡彩 春景図	
有形文化財		紙本墨画 雲龍図	
有形文化財		紙本墨画 山水図	
有形文化財		銅造 阿弥陀如来坐像	
有形文化財		鉄造 阿弥陀如来立像	
有形文化財		太刀 栗原昭秀謹作之	
有形文化財		太刀 銘 作陽土細川正義	

(出典：栃木県教育委員会 HP)

表 2-5 (4) 那珂川流域の文化財 (栃木県指定-2)

県	市町村	指定区分	名称
栃木県	矢板市	有形文化財	絹本着色 鮎図
		有形文化財	絹本着色 高野四社明神図
		有形文化財	絹本着色 釈迦三尊十六善神図
		有形文化財	板絵著色 花鳥図
		有形文化財	絹本着色 観世音菩薩図
		有形文化財	絹本着色 阿弥陀如来坐像
		有形文化財	木造 金剛夜叉明王坐像
		有形文化財	木造 千手観音坐像
		有形文化財	木造 二十八部衆像
		有形文化財	銅造 大日如来坐像
		有形文化財	木造 行縁僧都坐像
		有形文化財	銅造 千手観音菩薩坐像 (縣仏)
		有形文化財	木造 風神・雷神像
		有形文化財	木造 阿弥陀如来坐像(紅顔梨色阿弥陀像)
		有形文化財	曜変天目茶碗 (禾目天目)
		有形文化財	槍 銘 守勝
		有形文化財	寛元二年銘の板碑
	那須烏山市	有形文化財	板絵著色 楊貴妃図
		有形文化財	板絵著色 韓信の股くぐりの図
		有形文化財	紙本着色 松に鷹図六曲屏風
		有形文化財	木造 千手観音菩薩立像
		有形文化財	金銅 観音立像
		有形文化財	木造 薬師如来坐像
		有形文化財	木造 薬師如来坐像
		有形文化財	銅造 阿弥陀三尊立像 (善光寺式)
		有形文化財	天蓋
		有形文化財	旗図罽
		有形文化財	刀 銘 下野国田中研次昭盛作
		有形文化財	太刀 栗原昭秀作
		有形文化財	刀 銘 作陽幕下土・細川正義同正守造之
	有形文化財	わきざし 銘 陸奥守藤原将応	
	那須烏山市 茂木町	有形文化財	松倉山観音堂仏像
	那須町	有形文化財	金銅 勢至菩薩立像
		有形文化財	青銅製 鱧口
		無形民俗文化財	半俵の寒念仏
		無形民俗文化財	富山の佐々良舞
	茂木町	有形文化財	絹本着色 唐美人図
		有形文化財	紙本墨画 猿田彦・碓女命之図
		有形文化財	絹本着色 鮎魚遡漲水之図
		有形文化財	銅造 観音勢至菩薩立像・脇侍
		有形文化財	木造 丈六阿弥陀如来坐像
		有形文化財	木造 十一面観音立像
		有形文化財	木造 薬師如来坐像
		有形文化財	紙本墨書 小深檢地帳
		有形文化財	能持院総門
	有形文化財	小貫観音堂 附 石燈籠	
	塩谷町	有形文化財	刀 銘 源将応
		有形文化財	わきざし 銘 宗勝
		無形民俗文化財	風見の神楽
	那珂川町	有形文化財	木造 延命地藏菩薩坐像
有形文化財		刀 銘 宇陽藩細川義規男正規造之	
有形文化財		捨得の図罽	
有形文化財		五鈷杵	
有形文化財		紺紙金字法華経	
市貝町	有形文化財	木造 千手観音立像	
	有形文化財	木造 千手観音立像	
	選定保存技術	大畑家の武者絵のぼり	

(出典：栃木県教育委員会 HP)



### (3) 舟運の歴史

那珂川は近世において、水戸と水戸藩領および下野（栃木）方面、東北諸藩と江戸を結ぶために、河口近くで合流する涸沼川と共に輸送動脈の役割を果たしてきた。江戸時代の那珂川舟運は奥州諸藩の廻米や幕府領の城米、所産物などを那珂川から涸沼川、北浦、霞ヶ浦、利根川を利用して運び、江戸方面との交流に利用されてきた。

那珂川舟運の遡航終点は黒羽河岸で、那珂川の舟運を利用した物資輸送には、河岸で舟に積み替えられ、那珂川を下り涸沼川を遡って涸沼湖畔の海老沢河岸や網掛河岸に陸揚げされ、陸路を駄送（岡付け）し、そこから小川に出て霞ヶ浦の舟運を利用した。また、涸沼の海老沢から陸路下吉影に至り、そこから巴川を小舟に積み替えて下って塔ヶ崎、串挽（鉾田）に出て北浦を経て潮来、さらに利根川を遡り下総関宿から江戸川を南下して松戸・市川・行徳を経て中川を横断し、隅田川に入り、本所・深川・浅草・日本橋筋の河岸に輸送された。このように那珂川・涸沼川経由の江戸回漕路を「内川廻し」（内廻りともいう）と呼んだ。また、会津地方から物資が久慈川から高和田河岸などで陸揚げされて那珂川河岸に陸送された。

那珂川で本格的な舟運が始まった万治年代（1658-1661）の6河岸は、その後物資輸送の増大とともに河岸の数は増え、江戸中期の安永6年（1777）には14河岸、明治に入って13年（1880）には19河岸となった。しかし東北本線、真岡線、烏山線等の鉄道の開通に伴い、次第に船荷が減少し、舟運の衰退とともに河岸も姿を消していった。

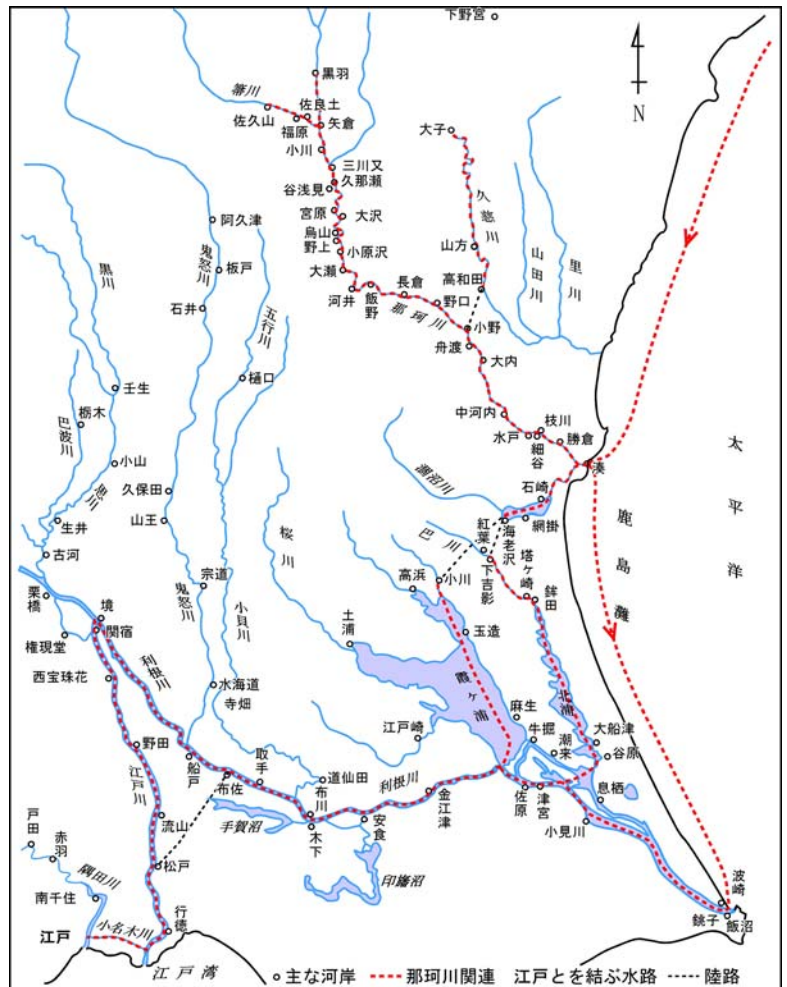


図 2-2 那珂川河岸と利根川水系の水運路

(出典：地方史研究協議会 日本産業史大系を基に作成)

(4) イベント・観光

① イベント

那珂川流域の市町村では各種のイベントが行われており、古くから流域の住民の生活に根付いているものも少なくない。

那須烏山市（旧烏山町）の「山あげ祭」は、八雲神社例大祭の奉納行事で、450年以上の歴史をもつ。現在毎年7月に、特産の烏山和紙を、竹や網代に編んだ上に幾重にも貼りつけた「山」があげられ、その前で狂言が演じられ、場面ごとに木頭（指揮者）の拍子木を合図に様々に変化する仕掛けと、「将門」「戻橋」などの踊りがくりひろげられる。この祭礼は、昭和54年に国の重要無形民俗文化財に指定された。



▲山あげ祭の様子

表 2-6 に那珂川流域市町村のイベントを示す。

表 2-6 那珂川流域市町村のイベント

県	市町村	年中行事
茨城県	水戸市	梅まつりみとの日桜まつりつつじまつりあじさいまつり水戸黄門まつり萩まつり菊花展アートタワーみと磯節全国大会
	ひたちなか市	阿字ヶ浦海岸花火大会ひたちなか祭り花火大会那珂湊海上花火大会みなとフェスタ（八朔祭り）みなと産業祭
	那珂市	なかひまわりフェスティバル大助まつり（菅谷まつり）那珂太鼓額田祭り・通りばやし門部ひよっこ踊り秋の大祭り・静神社十六夜尊大法要・常福寺
	常陸太田市	ごぜんやままつり
	笠間市	笠間神社菊祭り ふるさと友部まつり町民文化祭夏祭り（八雲神社の祇園祭平神社の祇園祭） 六所神社大祭泉ばやし灯籠念仏悪態祭り
	茨城町	茨城町音頭あんば祭り
	大洗町	花火大会八朔祭菊祭り
栃木県	那須塩原市	湯けむりマラソン全国大会川崎大師厄除不動尊例祭塩原温泉感謝祭福渡たなばたまつり塩原温泉夏祭り塩原朝市物語ぎやあてい花火まつり塩原温泉古式湯まつり塩原温泉まつり八幡宮例祭夜祭り三恩人感謝祭高原大根・もみじまつり高尾忌街角イルミネーション奉納女将もちつき祭
	大田原市	太子祭那須神社春期大祭雅楽奉納（正浄寺）那須神社例大祭屋台まつり一まつり
	さくら市	花市どんと焼き今宮神社節分祭光明寺感満不動尊縁日芋串観音縁日さくら市夏祭りさくら市サマーフェスティバル喜連川花火大会八坂神社祭り龍光寺とうみぎ観音縁日今宮神社例大祭星宮神社代々岩戸神楽菊花展今宮神社大公孫樹祭り（ライトアップ事業）暮市喜連川イルミネーション
	矢板市	木幡神社例大祭（百物揃え）ともなまつり矢板たかはらマラソン大会高原山トリアスロン大会つつじまつりふるさとまつり納涼流し踊りともな文芸まつり太々神楽（境林）岩戸神楽八坂祭どんと焼きはしか地蔵縁日
	那須烏山市	山あげ祭
	那須町	桜まつり那須ヨサコイ祭り北条の獅子舞那須高原こいのぼり祭開山祭御神火祭教伝地蔵尊縁日大沢の獅子舞那須高原朝市八雲神社例大祭那須高原ベこまつりなすっこまつり伊王野盆踊り大会聖天祭花火大会一ツ樞の獅子舞那須九尾まつり那須温泉神社例大祭那須高原菊花展伊王野霞ヶ岡神社祭黒田原神社例大祭那須岳（茶臼岳）閉山祭半俵寒念仏花市節分祭時庭の神楽那珂川北部溪流釣り解禁
	茂木町	河井のささら
	塩谷町	さくらフェスタ in 大平崎花の祭典ふるさと納涼祭しおや湧水の里マラソン大会風見神楽寺工事の獅子舞道下の獅子舞上平の大杉ばやし
那珂川町	三和神社のどんと焼き新町の花市馬頭公園の桜まつり静神社例大祭のたけのこ祭小砂焼春の陶器市霧ヶ岳山村文化体験村のなのはな祭り竹芸展那珂川・箒川の鮎解禁ぶどう園天皇祭温泉神社山車やな納涼祭三和天祭諏訪神社のささら舞道の駅感謝祭温泉神社秋例祭菊花大会小砂焼登窯祭商工祭そば祭鷺子山上神社夜祭りやがねの湯感謝祭	

（出典：各市町村HP）

② 観光資源

那珂川流域は上流では温泉や牧場、遊園地などレジャー施設、中流では自然を楽しむキャンプ場などの施設、下流では水戸市内を中心に歴史や文化を学ぶことができる施設など、数多くの観光資源が存在する。表 2-7 に那珂川流域の観光資源を示す。

表 2-7 那珂川流域市町村の観光資源

県	市町村	観光施設
茨城県	水戸市	偕楽園好文亭（偕楽園内）義烈館弘道館保和苑水戸芸術館茨城県立歴史館彰考館徳川博物館茨城県近代美術館水戸市立博物館水戸市植物公園水戸市内原郷土史義勇軍資料館
	ひたちなか市	虎塚古墳十五浪穴湊御殿の松い賓閣跡山上門反射炉跡水門帰帆中生代白亜期層観瀾所酒面磯崎神社の自然林比観亭跡ふるさと懐古館武田氏館国営ひたち海浜公園阿字ヶ浦海水浴場平磯海水浴場姥の懐マリンプル馬渡はにわ公園
	那珂市	弘願寺・くすぐり地藏静神社蒼龍寺鷲神社三嶋神社鞍掛石鈴木家住宅（光園休憩所）清水寺の湧水・大杉戸村城跡
	常陸太田市	花立自然公園鷲子山上神社吉田八幡神社照願寺/親鸞聖人見返りの桜工芸ふれあいセンターやすらぎの里公園弥七の墓百観音自然公園江畔寺御前山青少年旅行村（キャンプ場）三王山自然公園御前山ハイキングコース
	笠間市	笠間工芸の丘春風萬里荘田中嘉三記念館笠間稲荷美術館笠間稲荷神社西念寺常陸国出雲大社真浄寺の物見櫓笠間城跡つつじ公園石の百年館石切り山脈笠間芸術の森公園匠工房笠間（茨城県窯業指導所）スカイロジック隠沢観音塔家住宅五霊の椿安居の千日堂普賢院本堂岩間囃子滝入不動堂宍戸藩陣屋表門子忍びの森羽梨山神社
	茨城町	潤沼自然公園広浦公園親沢公園上ノ山古墳大戸のサクラ宝塚古墳福性寺と飯沼城跡勘十郎堀田福寺小幡城跡小幡北山壇輪制作遺跡神谷古墳群水戸浪士の毛塚木村屋住宅
	城里町	金剛院歌碑石塚城跡那珂西城跡青山神社小坂神社小松寺平重盛の墓ふれあいの里ホロルの湯藤井川ダムグリーン桂うぐいすの里山びこの郷仏国寺・奥の院小勝のカヤ伊藤益荒・伊藤斎宮（水戸天狗党）自刃の碑
栃木県	大洗町	大洗マリントワーアクアワールド・大洗大洗わくわく科学館幕末と明治の博物館大洗海洋博物館大洗美術館大洗磯前神社願入寺磯節発祥の地の碑磯節踊り子の碑大洗荒磯太鼓巖船の夕照子の日ヶ原の碑山村暮鳥の碑
	那須塩原市	塩原もの語り館天皇の間記念公園関谷郷土資料館奥塩原オートキャンプ場大沼公園もみじ谷大吊橋回顧の吊橋七ツ岩吊橋紅の吊橋山ゆりの吊橋回顧の滝竜化の滝滝沼原温泉乙女の滝旧青木家那須別邸鳥野目河川公園オートキャンプ場竈岩神社水生植物園那珂川河畔公園光徳寺杉並木烏ヶ森公園那須野が原公園那須野が原博物館深山ダム板室温泉三斗小屋温泉三斗小屋宿跡 板室温泉神社妙雲寺ぼたん園塩原渓谷歩道塩原自然研究路・沼園地小太郎ヶ淵奥塩原新湯爆裂火口跡八方ヶ原千本松牧場 TEPCO ランド塩原上三依水生植物園塩原八幡宮逆杉源三窟木の薬化石園
	大田原市	大田原神社光真寺福原八幡宮不動の滝与一の墓磯上の山桜黒羽観光やな黒羽城址公園五峰の湯ザゼン草群生地寒井観光余一やな大雄寺高館城跡那須神社芭蕉公園芭蕉の館羽田沼若杉山荘大野放牧場笠石神社（那須国造碑）侍塚古墳御亭山緑地公園なかがわ水遊園なす風土記の丘資料館
	さくら市	荒川水辺公園御用堀寒竹園もとゆ温泉喜連川スカイタワー喜連川城温泉早乙女温泉お旗塚古墳今宮神社御前城跡滝沢家住宅青銅不動明王坐像（光明寺）寛方・タゴール平和公園川原石塔婆郡西導寺地藏菩薩坐像勝山パークブリッジ勝山城址もとゆ温泉喜連川常温泉
	矢板市	川崎城跡城の湯温泉宮川渓谷寺山赤滝・小滝山縣有朋記念館荒井家住宅寺山ダム矢板武記念館八ヶ原長峰公園御前原城跡県民の森山観音寺木幡神社生駒神社沢観音寺塩竈神社寺山鉱泉小滝鉱泉赤滝鉱泉コリーナ矢板矢板温泉
	那須烏山市	龍門の滝花立峠やまびこの湯烏山山あげ会館龍門ふるさと民芸館国見の棚田烏山大橋烏山城跡大平寺稲積神社町守山キャンプ場八溝県民休養公園（四季の森）安楽寺八十八ヶ所霊場公園大金太子堂那須家・大田原家の墓芳朝寺ばんこ穴こぶしが丘温泉寿乃湯大金温泉
	那須町	那須七湯殺生石八幡のツツジ群落
	茂木町	大瀬キャンプ場旧羽石家住宅大瀬観光やな能特院細川家墓所馬門の滝城山公園茂木城跡茂木手工芸館ツインリンクもてぎ十石河川公園木造丈六阿弥陀如来坐像（安楽寺）茂木焼窯工大村彫刻の森美術館茂木焼窯元小貫古木群仏頂山・高峰山遊歩道真岡鐵道のSL
	塩谷町	尚仁沢湧水尚仁沢はーとらんど水と親しむ児童公園高原山観音橋佐観音籠岩大滝自然休養村センター川霧の湯町営やまゆりの湯権現の湯
	那珂川町	鷲子山上神社栃木県立なす風土記の丘資料館小川館土蔵ギャラリー金子懐古館馬頭広重美術館いわむらかずお絵本の丘美術館もうひとつの美術館カタクリ山公園小川ふるさと館キャンプランドなまずっこまほろばの湯ゆりがねの湯那珂川温泉
市貝町	ゆったりランド市貝温泉健康保養センター伊許山キャンプ場真岡線SLゴルフ場観音山梅の里	

（出典：各市町村HP）

## 2-4 自然公園の指定状況

那珂川流域の市町村における自然保護関連の指定項目と指定状況は以下のとおりである。  
数多くの自然、動植物が保護・保全の対象となっている

表 2-8 那珂川流域の自然公園指定状況

指定	名称	関係市町村	面積 (ha)	指定年月日
国	日光国立公園	那須塩原市、矢板市、塩谷町、藤原町、那須町	全体：140,021 栃木県：103,479	S9.12.4(日光地区) S25.9.22(区域拡張：藤原、塩原、那須地区) S60.9.5(那須、塩原地域一部削除) H9.9.18(日光地域一部拡張、一部削除)
茨城県	御前山県立自然公園	常陸大宮市	7,380	S29.7.19
	大洗県立自然公園	水戸市、ひたちなか市、茨城町、大洗町、鉾田市	2,543	S26.7.13
	笠間県立自然公園	笠間市、城里町	3,969	S30.11.7
	吾国愛宕県立自然公園	笠間市	3,835	S49.11.21
	水戸県立自然公園	水戸市	300	S26.7.13
栃木県	益子県立自然公園	益子町、茂木町	2,136	S30.3.1
	那珂川県立自然公園	那須烏山市、茂木町、市貝町	3,001	S42.3.10
	八溝県立自然公園	那須町、大田原市、那珂川町	6,918	S46.7.20

(出典：環境省生物多様性センター生物多様性情報システム, 茨城県生活環境部環境政策課 HP, 栃木県林務部自然環境課 HP)

表 2-9 那珂川流域の生息地等保護区指定状況

名称	所在地	設定年月日	面積 (ha)	指定地の概要	保護に関する方針 (概要)
羽田ミヤコタナゴ生息地保護区	栃木県大田原市	H6. 12. 26	60.6 (12.8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>栃木県北部の那須野ヶ原扇状地東部に位置する丘陵地。</li> <li>羽田沼と同沼を水源とする農業用水路及びそれらを取り巻く水田等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミヤコタナゴの生息には、用水路の水質・形質維持及び餌条件、産卵母貝であるマツカサガイの生息の確保が必要。</li> <li>当該区域における各種行為は、用水路の水質・形質等の生息環境への影響について特に配慮が必要。</li> <li>マツカサガイの捕獲を規制。</li> </ul>

(出典：環境省生物多様性センター 生物多様性情報システム)

表 2-10 那珂川流域の国指定及び県指定自然環境保全地域指定状況

指 定	地域名	所在地	指定年月日	備 考
国	大佐飛山	那須塩原市	S56.3.16	ブナ・オオシラビソ天然林
茨城県	鷲子山	常陸大宮市	S50.12.23	シダ植物、豊富な草木類
	清音寺	城里町	S52.2.3	クロムヨウラン、クロガネモチの自生
	小松寺	城里町	S52.2.3	マルバダケブキ、ミヤマウズラ、オオムラサキ、ムヨウラン
	釜上	ひたちなか市	S54.12.1	ラセイタソウ、イワタバコ群落、タブノキ、ヒイラギ、第三系凝灰岩質砂岩
栃木県	鷲子山	那珂川町	S48.8.31	トチバニンジン、イワウチワ群落、センダイハグマ等
	箒根	那須塩原市	S48.8.31	モミ
	親園	大田原市	S48.8.31	ミヤコタナゴ等
	七千山	那須塩原市	S48.8.31	ハイマツ、ハクサンシャクナゲ等 ミズナラ
	鮎田	茂木町	S51.1.31	トウキョウサンショウウオ
	東高原	矢板市	S51.1.31	ブナ、ミズナラ
	松倉山	矢板市、那須烏山市	S52.7.19	クマガイソウ、イワマツ等
	焼森山	茂木町	S52.7.19	イワタバコ、クマガイソウ等
	小埜	那須烏山市	S52.7.19	荒川の河蝕地形
	南高原	塩谷町	S53.9.19	ヒノキ
尚仁沢	矢板市、塩谷町	H4.12.18	ブナ、ミズナラ、モミ等の天然林、年間をととして一定の湧水現象	

(出典：環境省生物多様性センター 生物多様性情報システム)

表 2-11 那珂川流域の鳥獣保護区特別保護地区指定状況

名 称	所在地	面積 (ha)	期 間
御前山特別保護地区	城里町	82	H12.11.1～H22.10.31
内原特別保護地区	水戸市	15	H13.11.1～H23.10.31
佐伯山特別保護地区	笠間市	31	H13.11.1～H23.10.31
涸沼特別保護地区	茨城町、大洗町、鉾田市	935	H16.11.1～H26.10.31

(出典：茨城県鳥獣保護区等位置図)

表 2-12 那珂川流域の鳥獣保護区指定状況

指定	名称	所在地	面積 (ha)	期間
茨城県	御前山	常陸大宮市、城里町	1,990	H12.11.1~H22.10.31
	那珂	那珂市	1,280	H15.11.1~H25.10.31
	水戸	水戸市	1,500	H9.11.1~H19.10.31
	大塚池	水戸市、城里町	270	H16.11.1~H26.10.31
	笠間湖	笠間市	210	H7.11.1~H17.10.31
	内原	水戸市、笠間市、友部町	566	H13.11.1~H23.10.31
	佐伯山	笠間市	546	H13.11.1~H23.10.31
	友部	笠間市	660	H14.11.1~H24.10.31
	千波	水戸市	1,300	H15.11.1~H25.10.31
	涸沼	茨城町、大洗町、銚田市	2,072	H16.11.1~H26.10.31
	愛宕山	笠間市	807	H7.11.1~H17.10.31
栃木県	塩原	那須塩原市	4,035	H14.11.1~H24.10.31
	千本松	那須塩原市	836	H16.11.1~H26.10.31
	茂木	茂木町	730	H9.11.1~H19.10.31
	烏山	那須烏山市	1,173	H9.11.1~H19.10.31
	雲巖寺	大田原市	258	H9.11.1~H19.10.31
	高原山	矢板市、那須塩原市	852	H10.11.1~H20.10.31
	黒羽	大田原市	345	H12.11.1~H22.10.31
	八溝	大田原市、那須町	1,088	H14.11.1~H24.10.31
	矢ノ目ダム	那須町	459	H14.11.1~H24.10.31
	芦野・伊王野	那須町	325	H7.11.1~H17.10.31
	薬利小学校	那珂川町	8	H7.11.1~H17.10.31
	武茂小学校	那珂川町	45	H15.11.1~H25.10.31
	馬頭	那須塩原市	300	H11.11.1~H21.10.31
	烏が森	那須烏山市、さくら市	186	H13.11.1~H23.10.31
	馬頭青少年旅行村	那珂川町	210	H15.11.1~H25.10.31
	八溝県民休養公園	那須烏山市、さくら市	915	H13.11.1~H23.10.31
	大佐飛山	那須塩原市	545	H15.11.1~H25.10.31
	赤田	那須塩原市	111	H9.11.1~H19.10.31
	鷲子山	那珂川町	25	H10.11.1~H20.10.31
	箒川	矢板市、大田原市	78	H14.11.1~H24.10.31
	松倉山	那須烏山市、茂木町	15	H11.11.1~H21.10.31
	琵琶池	大田原市	165	H11.11.1~H21.10.31
	龍城公園	大田原市	11	H13.11.1~H23.10.31
	川崎城跡公園	矢板市	11	H14.11.1~H24.10.31
	那須スポーツパーク	大田原市	47	H15.11.1~H25.10.31
	芦野小学校・遊行柳	那須町	32	H15.11.1~H25.10.31
	那須街道	那須町	138	H16.11.1~H26.10.31
	木幡	矢板市	2	H16.11.1~H26.10.31
	那須神社	大田原市	33	H7.11.1~H17.10.31
	戸田調整池	那須塩原市	28	H7.11.1~H17.10.31
	喜連川	さくら市	31	H7.11.1~H17.10.31
	那珂川国民休養地	那須烏山市	30	H7.11.1~H17.10.31
	寺山観音寺	矢板市	3	H8.11.1~H18.10.31
	千振湖	那須町	257	H9.11.1~H19.10.31
塩原ダム	那須塩原市	430	H10.11.1~H20.10.31	
羽田	大田原市	110	H10.11.1~H20.10.31	
大平崎公園	塩谷町	72	H11.11.1~H21.10.31	
乃木公園	那須塩原市	28	H11.11.1~H21.10.31	
六斗地	那須塩原市、那須町	79	H12.11.1~H22.10.31	
江川小学校	那須烏山市	135	H13.11.1~H23.10.31	
那須みやま	那須塩原市、那須町	11,970	H14.11.1~H24.10.31	

(出典：茨城県鳥獣保護区等位置図、栃木県林務部自然環境課 HP)

表 2-13 那珂川流域の特定植物群落一覧表

名称	所在地
大洗海岸の常緑広葉樹林	大洗町
御前山の暖帯林	城里町
小松の常緑樹林	城里町
常北町の暖帯林	城里町
笠間市の常緑樹林	笠間市
岩間町の自然植生	笠間市
鷲子山の植生	常陸大宮市
仏頂山の植生	笠間市
難台・吾国山の植生	笠間市
那珂湊市釜上の植生	ひたちなか市
伊王野のケヤキ林	那須町
佐久山のヤマクボスゲ群落	大田原市
雨巻山のブナ林	益子町
高館山のシイ・アラカシ林	益子町
那須茶臼岳のヒメイワカガミ	那須町
三本槍岳頂上のハイマツ、チシマザサ群集	那須町
矢沢林道のチドリノキ、オクノカンスゲ群集	那須塩原市
大佐飛山のオオシラビソ・コメツガ・チシマザサ群集	那須塩原市
大佐飛山のコメツガ・ハイマツ群集	那須塩原市
県民の森のクロヒナスゲ群落	矢板市
塩原大沼のミズバショウ	那須塩原市
釈迦ヶ岳のコメツガ・イラモミ林	那須塩原市
鷲子山の希少植物	那珂川町
箒根のモミ天然林	那須塩原市
東高原のブナ・ミズナラ群落	矢板市
松倉山の暖帯照葉樹林	那須烏山市、茂木町
焼森山のイワタバコ・クマガイソウ群落	茂木町
南高原のヒノキ天然林	塩谷町

(出典：環境省 特定植物群落調査 第5回調査)

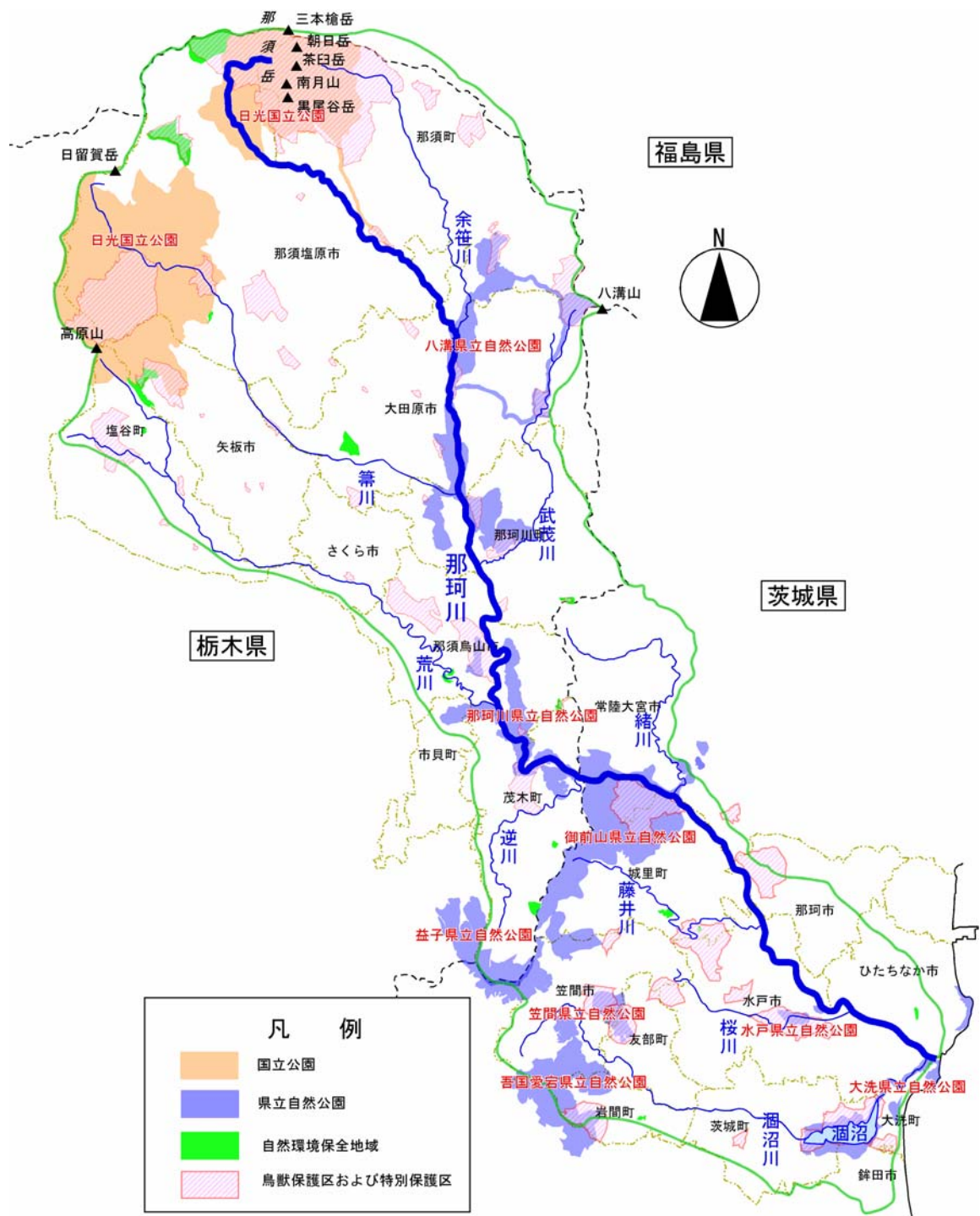


図 2-3 那珂川流域の自然公園等位置図